

平成30年
第 95 号

大 鉄 協

9月20日
発行ホームページでも
ご覧いただけます大阪鉄螺卸商協同組合
<http://www.daibyokyo.com>

「シマウマの群れ」

山崎龍彦

- ◇増谷理事長挨拶 2
- ◇第48回通常総会開催 2~3
- ◇組合だより 3
- ◇支部だより 4~5
- ◇委員会だより 5~7
- ◇第2回F E 加工体験セミナー 8
- ◇省エネ設備改修マッチング事業のご案内 9
(おおさかスマートエネルギーセンター)
- ◇随想投稿欄 10~12
(大喜多正己、庄司宜弘、野坂建太郎、
山田尚央、由良泰雅)
- ◇関西ねじ協同組合と合同行事 13
(ゴルフコンペ、ハイキング)



- ◇O S会の貢(西沢昌邦、原田貴司) 14~15
- ◇第44回ボウリング大会 15
- ◇第31回F E S Tセミナー開講 16
- ◇経営委員会 勉強会を開催 16
- ◇初開催 合同クッキングスクールを実施 17
- ◇2019年版ファスナーカレンダー 17
ねじ手帳 ダイアリー発刊
- ◇第70回野球大会 18~19
- ◇日本ねじ商連 第43期通常総会 19
- ◇シリーズ「私の宝物」(福井慶介) 20
- ◇表紙のことば(山崎龍彦) 20
- ◇今後の主な年間スケジュール 21
- ◇協賛広告 22

お礼と今後の方針

理事長 増 谷 彰 彦



理事長を仰せつかり早3年が過ぎました。大過なく務めさせていただきましたのは、組合員皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。各委員会では委員長はじめ、委員会の皆様の献身的な活動が

あってこそ成果が生まれましたこと、また、若輩者の私を副理事長・専務理事の方々にはいろいろと補っていただいたこと、たいへん感謝しております。

定款にありますように我々の目的は、「相互扶助の精神に基づき、組合員のために必要な事業を行い、もって組合員の自主的な経済活動を促進し、かつ、その経済的地位の向上を図ること」です。そのためには我々卸商だけではなく、製造業の方々のご協力も必要だと考えております。微力ながら、ねじ業界の地位向上に貢献できればと常々考え行動しております。

総務委員会では、年末の忘年会の準備をしております。

経営委員会では、年末の講演会の準備をしております。

労務委員会では、各種セミナー・工場見学の

準備をしております。今回の工場見学は紀州ファスナー工業株様にお願いしております。

業務委員会では、ねじ手帳等皆様にご活用いただける物品の販売促進をさせて頂いております。今後もより良く活用いただける物品をご提供してまいりますよう、検討中です。

福利厚生委員会では、今年度後半はテニス大会・ボーリング大会の準備をしております。

広報委員会では、広報誌・組合旗の作成をいたしております。

関西ねじ協同組合様との合同事業も、より一層進めていく方針です。

また、2020年年末に70周年記念式典を開催する予定です。もちろん開催委員会・開催委員を設ける予定ですが、組合員様全員で盛り上げていただきたく存じます。

大鉄協の組合員各社さまざまな会社がございます。個性豊かな会社の集まり。その集合体が、大阪鉄螺卸商協同組合です。そのいろいろな会社が、ねじ流通の向上を目的に組合活動を、「全員参加」「全員行動」「全員飛躍」「全員感謝」のスローガンの元、集まっています。今後もご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

定款の一部変更など9議案を審議 第48回通常総会を開催

当組合の第48回通常総会が5月23日にヴィアーレ大阪(大阪市中央区)において開催されました。当日は平成29年度の事業報告や決算報告、平成30年度事業計画及び収支予算、また役員定数に関する定款の一部変更など計9議案について審議を行い、いずれも原案通り承認されました。

総会は総務委員長である宮川勝氏が司会進行を務め、初めに組合関係物故者の冥福を祈り黙祷が捧げられました。続いて増谷理事長より開会の辞が述べられた後に組合事業協力者への表彰が行われ、大西啓文氏(大西鉄螺)

を議長として選出し、計9議案の審議に入りました【後掲】。また、総会の終わりには中上副理事長より閉会の辞が述べられ、中上副理事長は「2年後70周年を控えているが、長きにわたり活発な運営を続けられているのはひとえに

「諸先輩の努力の賜物だと思う」旨挨拶の中で話しました。

続いて行われた懇親会では近畿経済産業局、大阪府商工労働部、大阪市経済戦略局をはじめ多数の来賓を迎える、小林三洋相談役・理事による乾杯の発声で開宴となりました。開宴前にあった増谷理事長による挨拶では、忘年会を予定している12月7日に関西ねじ協同組合様との合同行事として展示会を企画している旨報告がありました。懇親会はおよそ1時間半程度行われ、組合員相互が和気藹々と懇親を深める中、鈴木啓次副理事長による中締めの挨拶をもって盛況裡に閉会となりました。

【第48回通常総会・議案】

①平成29年度事業報告 ②平成29年度収支決算 ③平成29年度剰余金処分案 ④平成30

年度経費の賦課する額ならびに徴収の時期およびその方法 ⑤組合借入金残高の最高限度額 ⑥平成30年度事業計画 ⑦平成30年度収支予算 ⑧定款の一部変更 ⑨その他

全9議案はいずれも原案通り承認されました。



総会の様子

組合だより

◇表彰関係

受賞おめでとうございます。

◎大阪中小企業団体中央会

組合経営功労者

- ・山一精工株式会社
代表取締役 桂 知伸氏
(平成30年9月)

◇新社長就任

○東部支部所属

- ・有限会社 藤森製作所
代表取締役 藤森 裕介氏
(平成30年5月)

○中央支部所属

- ・株式会社 テクノアソシエ
代表取締役社長 森谷 守氏
(平成30年6月)

○西部支部所属

- ・太洋ねじ株式会社
代表取締役社長 津崎 譲氏
(平成30年4月)
- ・株式会社 丸エム製作所
代表取締役社長 田島 直訓氏
(平成30年5月)

○九条支部所属

- ・岡ボールト株式会社
代表取締役 竹倉 政和氏
(平成30年7月)
- ・第一ボールト株式会社
代表取締役社長 上林 浩二氏
(平成30年7月)

◇訃報

○九条支部所属

- ・有限会社 平野製作所
取締役会長 平野 孝一氏
(平成30年2月20日ご逝去)

○東部支部所属

- ・有限会社 藤森製作所
代表取締役 藤森 勝治氏
(平成30年4月25日ご逝去)

○中央支部所属

- ・小林鉄螺株式会社
取締役会長 小林 剛氏
(平成30年4月28日ご逝去)

ここに謹んで哀悼の意を表し、ご報告致します。

支部だより

中央支部サミット開催

中央支部長 桂 知伸

平素は中央支部の活動にご協力頂き誠に有難うございます。

今年の夏は猛暑が続きましたが、暑さも忘れてしまいそうな「第100回全国高校野球選手権大会」が開催され高校球児の真剣なプレーに心を熱くされた方も多かったと思います。

当組合も今年で68周年。70周年が間近にせまって参りました。中央支部としても一致団結しての組合活動に今後ともご協力お願い申し上げます。

今後の支部活動としては10月末に、2016年5月に開催された「G7伊勢志摩サミット」で世界の主脳が一堂に会したホテル【志摩観光ホテル】に宿泊し、サミット開催時の雰囲気を体験して見たいとも思っています。又、11月末頃に食事会を予定しておりますので奮ってのご参加宜しくお願ひ申し上げます。

楽しい一枚岩

東部支部長 本田 裕久

残暑厳しい折皆様いかがお過ごしでしょうか。東部支部の皆様におかれましては平素より支部活動にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

さて東部支部では恒例の納涼会を7月27日、70名を超える方々をお迎えして盛大に開催いたしました。社員の皆様の楽しそうな姿、業務内容などでの交流、それらを見ていると東部では外せない行事になってきました。皆様また来年もご参加よろしくお願ひいたします。

支部の後期行事予定といたしましては、秋の懇親旅行を10月5日～6日(天橋立、伊根、丹後豪華観光列車くろまつ号にてのランチ)、新年会を2月1日に、4月中旬には支部総会を予定しております。幹事一同、東部らしい一枚岩で楽しい企画にしたいと考えて頑張っております。お忙しいとは存じますがご参加お待ちしてお

ります。

酷暑と猛暑、どっちが暑い？

九条支部長 平田 政弘

残暑お見舞い申し上げます。

毎年、同じセリフの繰り返しになりますが今年も本当に暑い(>_<)因みに歴代の最高気温ランキング10傑の内、1位～6位までと9位、10位がナント! 2000年以降の記録らしい。やはり温暖化等異常気象の影響か!? 気象庁の発表する暑さの表現が気になったので調べてみると……「夏日」とは、日中の最高気温が、25度以上の日。「真夏日」とは、日中の最高気温が、30度以上の日。「猛暑日」とは、日中の最高気温が35度以上の日の事を言うらしい。

ん? ん? 酷暑はどこへ行った? 酷暑は……これも調べてみると酷暑と言う表現はあるが「酷暑日」と言う定義は今のところ無いようだ。それこそ今後40度以上の定義ができるとしたらそれが、「酷暑日」となるのかも知れないが今のところ気象庁的には一番暑い日の表現としては「猛暑日」となる模様だ。しかし気象庁の発表とは別にメディアは酷暑と猛暑を上手く使い分けながらその日その日の暑さを表現して行く事になるのだろう。何を言わんとするかと言うと、「その暑さを表現するのに困るくらいの暑さが今年も続いた夏であった」と言う事である。

今後の支部の活動としましては9月に九伸会ゴルフコンペ～来春に懇親旅行を予定しております。今後も支部活動にご協力とご理解の程、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

支部長の仕事

本田支部長 赤座 和宏

今年の夏は近年にない40℃に迫る猛暑と豪雨による土砂災害が相次ぎました。組合員の皆様はご無事でお過ごしになられましたで

しょうか。この号が出る頃には気温も平年並みに落ち着いておればいいのですが。

さて支部活動ですが、5月に増谷理事長様にお越しいただきまして支部総会を開催しました。今後の予定は9月に九条支部さまのお世話による恒例のゴルフコンペ。11月には島根県出雲方面への支部旅行を企画しております。去年は支部長の独断で、旅行はナシにしたので今回は目いっぱい楽しんでいただけるよう幹事一同張り切っております。

これで今期の仕事はほとんど終わったようなものなのですが(笑)あとは来期の支部の人事と各委員会への委員さんの振り分けです。我が支部は人数も組合の中で最小なので支部の中の人事は必然的に決まりますが悩むのは委員会です。各委員会にはベテランというか、スペシャリストの方が少なからずおられます。委員長様からの要請もあります。ただ、いろんな委員会を経験して欲しいという気持ちもあり、頭を悩ませております。

理事の定数削減も決まりましたことを受けて色々と考えて行きたいと思いますので皆様よろしくお願ひいたします。

支部初の旅行

西部支部長 三木 茂晴

残暑お見舞い申し上げます。皆様におかれましては、この季節いかがお過ごしになられたで

しょうか。もうそこに秋の季節が、もう少しです。ご自愛ください。

さて、恒例となりました支部旅行を6月に開催させて頂きました。今回は、台湾通の近藤さんと西澤さんにお世話になり、支部初の海外!台湾旅行に行ってまいりました。

台湾通の案内は、入り口から違います。週一回しかない便で関空から台南へ入り、台南観光&おいしい中華料理。台南は一昔前の台湾というかアジアを肌で感じさせてくれました。そして、台湾新幹線に乗車し台北へ。大阪と変わらぬ都会と言う印象ですね。観光名所は高層ビル台北101、故宮博物院、九份等々ありますが、我々は普通の観光はしません。有名どころには目もくれず、ここでも地元の人が行く夜市とおいしい中華料理を堪能しました。

駆け足の3日間でしたので時間が足りず、もっといいところを案内したかったと幹事さんは悔しがっておりましたが、楽しい台湾を案内頂き、幹事さんには感謝申し上げます。幹事さん曰く、「本当は東海岸の風光明媚なところを案内したかった」とのこと。次回のお楽しみにしましょう。

昨年は実施できませんでしたが、この秋には親睦ゴルフコンペを開催したいですね。その節は皆さんよろしくお願ひします。残暑が残り身体もしんどいですが、みなさんもう少し頑張りましょう。

委 員 会 だ よ り

年末講演会は事業承継をテーマに

経営委員長 近藤 淳

日頃から、経営委員会の活動に、ご協力を賜り深謝申し上げます。今年の夏は異常気象とやらで、残暑がひと際厳しい日が続きますが、経営委員会では早くも年末講演会の企画を立てました。本年は事業承継をテーマに開催します。

この紙面を借りて、少し予告をさせて頂きましょう。

事業承継問題は日本の中小企業経営者にとって、誰もが直面している大問題であるとされています。勿論、その問題の種類や程度は、企業それぞれに違い一様ではありません。後継者が不在の企業にあっては後継者選定の問題で有るし、後継者が決まっている企業は、後継者

教育に関心が向かうでしょう。中にはもっとテクニカルに、税務問題や株価対策に頭を悩ます企業もあると思います。

いわば中小企業の数だけ、事業承継問題は存在すると言っても過言ではないでしょう。しかし現在、日本経済の置かれた環境や政府部門による施策の限界から見て、困難な問題に立ち向かわねばならない経営者が多いと思われます。故に、年末講演会が問題解決の糸口となれば幸いです。

今回の年末講演会では個別の問題に深くフォーカスするには場違いですし、時間も十分ではありません。講演会においては、広く問題の所在を提起して頂く方向で講師の先生にお願いをしています。講師には、中小企業の円滑な事業承継に詳しい、新進気鋭のコンサルタントであり税理士の資格を持たれる大井大輔先生をお招きし、多方面から円滑な事業承継についてお話を賜ります。忘年会に先立ち、少し早い集合となります。一人でも多くの組合員のご参加をお待ち申し上げております。

労務委員会活動予定

労務委員長 梅田 真吾

引き続き労務委員長を務めております(株)梅田精密の梅田真吾と申します。平素は労務委員会の活動にご理解をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本年度も各種セミナー、工場見学と様々な活動を継続いたします。特に、10月24日実施予定の第2回FE検定につきましては、昨年度同様多くのご参加を頂きたいと思いますので、従業員の背中を押して頂きます様、何卒よろしくお願い申し上げます。

また、工場見学では和歌山県御坊市に新設された紀州ファスナー工業(株)様にお世話になります。この機会に是非ご参加いただければと思います。

秋以降の活動予定は下記の通りとなります。

1. FEセミナー 図面の見方・描き方コース
10月5~6日 テクノセンター東大阪

2. FEセミナー 工場見学
10月12日 紀州ファスナー工業

3. FE検定
10月24日 鐵鋼会館

4. FEセミナージュニアコース
11月16日 鐵鋼会館

5. FEセミナースタンダードコース
平成31年3月8~9日 鐵鋼会館

6. FEセミナー加工体験コース
平成31年3月19日・20日(2日間共に同じ内容) ポリテクセンター関西

まだ、一度もご参加頂けていない組合企業様にも何とかご活用頂けたらと常々考えております。皆様のご参加をお待ちしております。

一味違ったおもてなし

総務委員長 宮川 勝

残暑お見舞い申し上げます。昨年に引き続き、本年も総務委員長を務めさせて頂いておりますミヤガワ金属販売(株)宮川と申します。平素は総務委員会の活動に対し多数の参加を賜り、誠にありがとうございます。

総務委員会の年内行事と致しましては年末恒例の忘年会を12月7日に「ホテルモントレグラスミア大阪」にて開催致します。今回の忘年会は一年の慰労を笑いで吹き飛ばして頂こうと色々な企画を考えております。恒例であるbingo大会も豪華景品を用意し行いますので楽しみにしていて下さい。

又新年互礼会は1月7日にヴィアーレ大阪にて執り行います。今回は大鉄協単独で行う年となっております。年末年始お忙しいとは思いますが多数の方のご参加お待ち申しております。

各種事業へのご協力御礼

業務委員長 垣内 龍夫

残暑お見舞い申し上げます。

さて、平素は業務委員会の活動にご支援、ご協力を賜りまして、ありがとうございます。本年度も、ファスナーカレンダー、A5ダイアリー、ねじ手帳と販売をさせていただきましたところ、例年通り順調に販売数が伸びており、おかげさまで、目標を達成できると確信しております。これもひとえに組合員様の業務委員会活動に対してのご理解の賜物であると感謝しております。

また、カーリース、共同購買、各種保険へのご加入も微増ですが、順調に推移しております。カーリースはトヨタレンタリース新大阪の営業の方、また各種保険も営業の方が組合事務局と同行し、営業活動をさせていただく事もあるうかと存じますが、その節には何卒よろしくお願ひ致します。

組合財源に微力ではありますが少しでも寄与できるように、業務委員会の委員様と共に進んでまいりますので重ねてご協力いただきまます様お願ひ致します。

2018年夏を振り返り

福利厚生委員長 西出 倫明

残暑お見舞い申上げます。

今年の夏は記録的な猛暑と豪雨に始まりました。各地でさまざまな人の想像を超えた災害が起り、私たち大阪でも地震により北大阪一帯で被害が発生致しました。被害に遭われた方々には心よりお見舞い申上げます。

こんな時こそ皆で助け合わなければならぬと思いました。当組合も会員各位も助力の気持ちを持って活動できたらと願います。「ねじ」とはまさに助力を形にしたものだと思います。

福利厚生委員会の活動報告ですが、7月22日に村田機械神足球場を例年通りお借りし野球大会予選を行いました。大会二日目となる7月29日は台風12号の直撃をうけ8月5日に延期となりましたが、また無事(?)猛暑で2日とも35度

超えの危険な大会となりましたが、試合の間にインターバルを設けるなどし何とか重傷者を出さずに終えることが出来ました。9月9日に準決勝・決勝戦を行います(8月10現在)。

この冊子が発行される時には雨でなければ決まっている事でしょう。毎回天候にはヒヤヒヤさせられます。今年は関西ねじ事務局さんの視察も有り、来年度以降で関西ねじさん合同チームとのエキシビジョンマッチが実現するかも知れません。

10月21日には第10回テニス大会を行いますが年々参加人数が少なくなっております。奮ってのご参加をよろしく御願い致します。

まだまだ暑い日や幾つかの台風も来そうな日々ですが皆様のご健勝を祈念しこの夏のご報告とさせて頂きます。

今期の活動

広報委員長 北川 浩史

平素は広報委員会の活動にご協力を賜りありがとうございます。この度も『大鉄協95号』が無事発刊できましたこと厚く御礼申し上げます。

「暑さ、半端ないって」こんな言葉が飛び交った今年の夏いかがお過ごしでしたでしょうか？私は涼を求めひたすらクーラーの下で退避する不健康な夏季休暇でした。

広報委員長を仰せつかり2期4年目に突入しました。機関紙『大鉄協』も95号・96号の2号を発刊するのみ、私なりの集大成となるよう務め上げたいと意気込みだけは持っております。ともあれ広報誌は寄稿者・編集者・愛読者の三位一体で成立しておりますので組合員各位のお力添えを引続き宜しくお願ひ致します。

広報委員会では今年も本誌の発行と組合ホームページの更新を主に情報発信をして参ります。また『大鉄協100号』の記念号に向け新企画など色々とご意見を頂ければ幸いです。

第2回 FEセミナー加工体験コースひらく 18社より30名が参加 旋盤・フライス盤に触れる



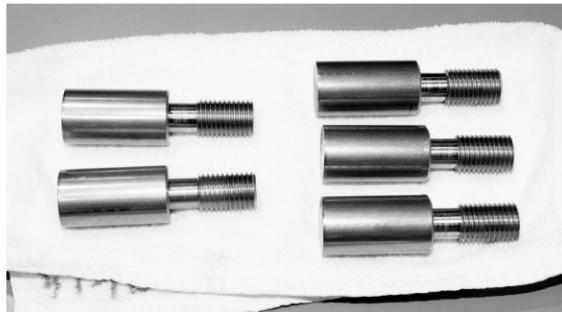
梅田委員長

労務委員会(梅田真吾委員長)は、3月22日と23日に関西職業能力開発促進センター(大阪府摂津市)において「第2回 FEセミナー加工体験コース」を実施しました。

当日は組合企業より2日間で18社より30名が参加。座学によりねじの寸法や検査器具について理解を深めると共に、実際に工作機械に触れながらねじの加工を体験しました。

この催しは当組合が実施する研修事業のうち座学に加えて加工を体験する機会を提供するもので、セミナーは両日とも同じ内容で行われました。第2回目となった今回は汎用旋盤によるおねじの加工に加え、フライス盤を使ったねじ切りの実習がありました。初日(22日)には開講に先立ち梅田委員長による挨拶があり、梅田委員長は「ねじの製造は現在冷間圧造が主流だが皆さんには切削による製造を体験して頂く。怪我の無いよう一日頑張ってほしい」旨話し受講者を激励しました。

この後指導員による講義の下、受講者は初めに「ねじの基本」をテーマとしてねじの寸法や規格について学びました。続いて「旋盤加工」



制作したねじ

の講義に移り、外径削り、溝削りを中心とした旋盤の操作方法について指導員による実演を交えた講義が行われ、受講者は時折メモを取りながら工作機械に対する理解を深めました。

旋盤によるねじ切りの実演では、受講者は3人1組になってS45Cの丸棒からM20のおねじを削り出しました。練習として丸棒を削らずに旋盤を動かし手順を確かめた後、始めに10回でφ2.7を切り込む粗加工を行い、残りはφ0.05ずつ切り込み仕上げを行いました。午後からは「測定器の取り扱い」としてノギス等の測定機器について講義を受けた後、続くフライス盤の実習では縦型フライス盤を使用してSS400の被削材に穴あけ・ねじ切り(M10)作業を行いました。

受講者はフライス盤実習を終えた後に清掃を行い、午後4時頃全ての課程を終えて閉会となりました。梅田委員長はこの加工体験コースについて、「好評なため、反響によっては別のコースを新設することも検討していきたい」と話しています。

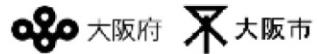


旋盤実習の様子



フライス盤に触れる受講者

設備改修を考えている事業者の皆様にお知らせです



おおさか版イニシャルゼロ省エネ設備改修マッチング事業

おおさかスマートエネルギーセンターでは、初期費用ゼロでの省エネ設備改修を希望する府内中小事業者等と、その支援を行うサポート事業者のマッチングを実施します。

事業メリット

一度に多額の資金が不要！

費用を分散できます

希望条件に合う事業者を紹介！

サポート事業者を探す手間が省けます

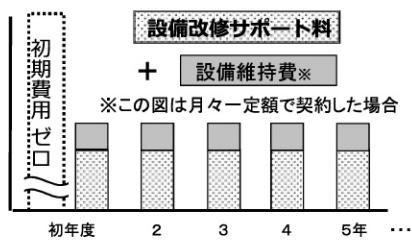
プロの省エネアドバイス！

サポート事業者から適宜受けられます

設備維持も安心！

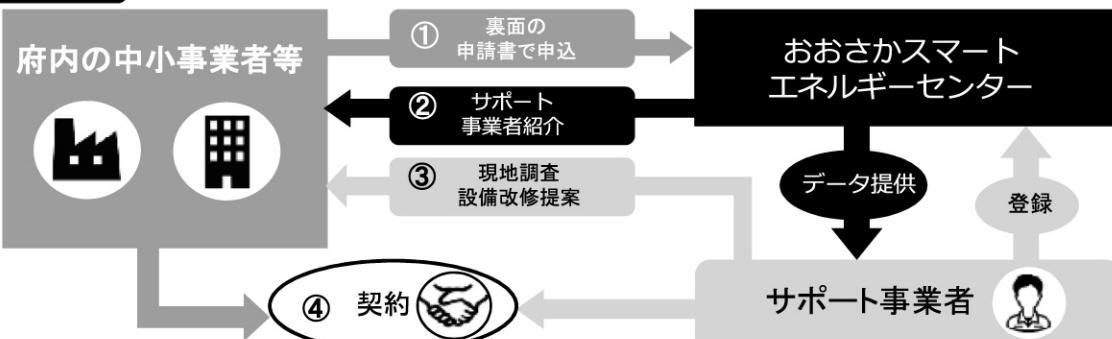
契約時に保守・保証の内容を選べます

費用イメージ



「設備改修サポート料」は、初期費用にかえて月々必要となる経費で、設備の種類や契約期間により設定されます。設備改修による光熱費の削減が大きければ、月々の光熱費削減分でまかなえる場合もあります。

実施の流れ



※ 希望条件や与信調査結果等により、事業を実施できない場合もあります

※ 中小事業者等、サポート事業者双方の責任において契約することとし、おおさかスマートエネルギーセンターの関与はありません

対象設備

照明設備（LED等）、空調設備、生産設備、ボイラ、EMS 等

サポート事業者

(登録順) 平成 30 年 6 月 21 日現在

- ・(株)エネテック大阪
- ・(株)関電エネルギーソリューション
- ・(株)エス・エス・ケイ

- ・三井住友ファイナンス&リース
- ・(株)GNE
- ・(株)キューコーリース

創エネ・省エネ・蓄エネに関するご相談は **おおさかスマートエネルギーセンター** まで



大阪府環境農林水産部 エネルギー政策課内
TEL 06-6210-9254 FAX 06-6210-9259
<http://www.pref.osaka.lg.jp/eneseisaku/sec/>

おおさかスマート

検索



おおさかスマートエネルギーセンターは大阪府と大阪市の共同設置です。

隨 想 投 稿 欄

あの頃の思い出

大西鉄螺(株)
野坂 建太郎

大人になってから出会った友人とは価値観が似ていたり波長が同じで、自然と仲良くなり同じ時間を過ごすことが増えました。

お互いに仕事の大変さや難しさに直面していた社会人一年目、リフレッシュも兼て金曜日の夜になると友人とドライブをしました。仕事が終わり夕食を済ませ、少し落ち着いたところで当時住んでいた枚方から車を走らせ京都駅で友人と合流し、特に目的地を決めていたわけでもなく、車内で「今日はここに行こう」などと決めてナビだけを頼りに目的地に向かいました。

今から思えば目的地があつて乗ったわけではなく、気の合うメンバーと好きな音楽を聴きながら色々なことを話すことが目的であったのかもしれません。地方から出てきた友人も多かったので、車を出すのはほぼ私の役割でしたが、運転することは好きであったため苦には思いませんでした。疲れている身体もその時だけは疲れ知らず、他愛もない話をしたり友人の冗談に大笑いしたりと車内は終始盛り上がってきました。

高速道路を使わずあえて下道で行き、山を越えたその先に広がる海、深夜の海をみて波の音を聴くと仕事のことはすっかり忘れ、今この瞬間を楽しめていました。その日は車内泊。静かなコンビニや道の駅で食べるカップラーメンがとてもおいしく、狭い空間でしたが修学旅行を思い出す、どこか懐かしい気分でした。

朝になりリフトで登った天橋立から見た景色は絶景で心が癒されました。そんな友人たちとの時間が自分にとって大切なものとなり、その後福井県・淡路島と様々なところに行きました。いずれも金曜日の夜集合、下道の計画は立て過ぎずが基本、そんな学生のような旅行が楽しく、仕事への活力にもなりました。

あれから約10年、友人たちもそれぞれ家庭

を持ち、あの頃の様に集合することは難しくなっていますが、長い人生のなかでもう一度、あの頃のメンバーで行き当たりばったりのドライブをしてみたい、と今でも思います。

それは手段か、目的か

大喜多(株)
大喜多 正己

景気は良いようである。もちろん業界によって、あるいは個々の企業によって、また個人によって不景気な場合もあるのは当然だ。それでも失業率は低く、求人には苦労が絶えないようだし、賃金も平均では上がっているらしい。多くの上場企業さんの決算も結構なようだし、倒産件数も低水準で推移している。

身近なところでは弊社の仕入先メーカーさんはどこも非常に忙しく、納期や受注キャパの確保も大変。全く頭が下がります。お待ち頂いているお客様にも心苦しく存じます。

まあ、マスコミではあまり「景気良い、景気良い」とはしゃいぢやいけないんだろう。私たち庶民の生活実感がそう変わったわけでもない。でも、少なくとも5年前よりは相当良くなっているように、私個人としては感じている。で、景気が良いとなれば、金融政策としては過熱しないように牽制するとか、少なくとも将来必ずやってくる景気後退に備えて緩和余力を作つておくとかするもんだろうと、シロウトの私としては思うわけだが、そして米国なんかでは政策金利は実際にちょっとずつ上げられてきているらしいのだが、先日の日銀さんの決定ではゼロ金利政策を維持されるとのこと。

今まで、マスコミさんからことあるごとに「いつまでたっても物価上昇2%が達成できないじゃないか」と揶揄されてきて、意地になつてしまふのだろうか。だとしたら、2%という数字はそんなに大事な数字なのだろうか。元々、「この(黒田氏就任当時の)不景気はデフ

レである」という認識の下、制御されたインフレを作れば不景気から脱出できるという理屈で、じゃあ何%ぐらいだったらしいの？ってことで出てきた数字と理解しているのだが（間違ってたらごめんなさい）、要は不景気脱出が目的で、インフレ目標2%はその手段のはずではないのだろうか。

……と、お上のことを批判するのは簡単である。しかし、手段と目的がすり替わってるんじゃないのかということは、身の回りでも往々にして起こることだ。毎月の売り上げ目標だって、その結果として得られる利益や従業員の給与や将来への投資こそが目的だ。そういうえば、東芝の不正経理（粉飾決算とどう違うのかは知らない）だって、表面的な数字さえ達成すればという過ちではなかったか。たまには自戒せねばと思う。

まあゼロ金利政策については、インフレターゲット2%以外にも色々あるのかもしれない。国債がどうのとか、株式市場とか不動産関係とか、日銀からの資金供給をアテにしている皆さんも多いのだろうし。願わくは、日銀が緩めたままの蛇口から流れ出るお金が庶民の生活にもちろん廻りますように、そして景気が悪くなり出した時に有効な政策手段が残っていますように……。

運転手

（株）太和商店
庄司 宜弘

皆さんは「Peanuts」と言う漫画をご存知ですか？アメリカの漫画家のチャールズ・M・シュルツの作品なのですが、日本ではスヌーピーやチャーリー・ブラウン等のキャラクターの方が有名です。

かく言う私も作品を読んだことはないのですが、たまたまインターネットで見た記事に感銘を受ける言葉がありました。チャーリー・ブラウンとその友人が安心とは何かについて話していて、チャーリーは「安心とは車の後部座席で眠ること。自分は小さな子供で、運転席と助手席には両親がいて、心配事は何もない。でもある時、その安心は消え去ってしまう。自分

が運転席に乗らないといけなくなる」と答えていました。私はこの言葉を見た時なるほどそうだなと思いました。自分が子どもの頃は何もしなくても両親がレジャースポットに連れて行ってくれて自分は思いっきり楽しむだけ。遊び疲れたら帰りの道中は車内で眠ってしまって目が覚めたら家に着いている。しかし自分が大人になり運転席に座るようになるとこれがいかに大変かと思い知らされました。

まず家族で遊びに行ける場所を探すところから始まり、渋滞に巻き込まれないような経路、ごはんの美味しい店等の事前の下調べ。遊んだ後は眠い目をこすりながらまた運転手になり家族を無事に家まで送り届ける。大人になって初めて分かった親の苦労、自分が運転席に座るようになり痛感しました。子どもだった頃はいかに自分が両親に社会のいろいろなことから守られてきたのかがわかりました。仕事に関しても同じで、父はこれまで社長として会社の舵を取りバブル経済の崩壊やリーマンショック後の不況を乗り越えてきました。その時も大きな不安やストレスなどから社員や家族を守っていました。

今の自分はその時の両親程しっかりしていませんが、もっともっと努力して親としても経営者としても安心感を与えられる運転手になろう！と後部座席で眠る娘を見て決意する今日この頃です。

猫になりたい

由良産商（株）
由 良 泰 雅

猫を飼うことにした。

家族からは犬のほうが良いと文句を言われ、知人からは「ついにそっちへ走るのか」と大いに笑われたが、知ったことではない。ただ癒されたかったのである。

ネットを駆使してブリーダーを見つけ出し、約束を取りつけ和歌山県へと車を走らせた。民家を改装した猫舎に彼はいた。小さな身体を快活に動かし、好奇心旺盛に走りまわっていた。丸顔に特徴的な垂れた耳。彼は晴れて我が家の一員となった。

自宅にはネット通販で手配した猫用グッズが山盛り届いていた。何ひとつ抜かりは無い。連れ帰った子猫を見て、犬派だった家族はあっさり掌を返し猫派の軍門に下った。

ざまあみろだ。可愛さは正義である。

さて、まずはこの子に素敵な名前を付けてあげなければならない。早速グーグル先生に尋ねると、日本では古来より「たま」という名前が人気との結果が出た。まあ当然か。そのままだとサザエさん家の猫になってしまふので、私は家族に「おたま」を提案した。即座に却下された。

幾多の候補を却下され悩み抜いた挙句、我が愛車から名前を頂戴することに決まった。

「命名：ろめお」

この名前、イタリアでは猫で一番人気であることが判明した。さすがは情熱の国である。そこをあえて平仮名にすることで和のテイストが加わり、お間抜けな響きに仕上がった。

猫を飼う事で生活は変わった。いたる所に猫のおもちゃが置かれ、抜け毛対策でレンバの稼働率が上昇した。何よりレンバ以上に私が猫を追いかけて家中をうろつく頻度が増えた。あまりにも猫に構い過ぎて、娘が「たまには私の相手もしてよ」といじけたのは予想外の効果と言えよう。

今ではすっかり家族に慣れ、堂々とヘソを天にさらして仰向けになって寝ている。その姿にはもはや野性のかけらも感じられない。自由気まで気まぐれ、呼んでも時々しか寄つてこない猫だが、その絶妙な距離感がたまらないのだと猫好きは言う。休日に猫と過ごすまったくとした空間が、私にとって一番の贅沢となつた。ああ、私も猫になりたい。

最後にろめお君、きみに頼みがある。

自分のうんこを踏んだ足で部屋を駆け回るのは後生だから止めてくれ。

ウサギのいる暮らし

(株)山田製作所

山 田 尚 央

ペットを飼いたいという子供たちからの申し出を頑なに拒否し続けてきた家内が、何を血迷ったか「ウサギなら飼ってもいいよ」と言つ

たのが4年前の夏の終わり。一瞬、「なんでウサギ?」という疑問が脳裏をよぎりましたが、家内自身が幼少の頃ウサギを飼っていたことがあるらしく、それ以上の理由については深く考えることもありませんでした。

運動会も終わり10月の半ば、いよいよ我が家にウサギが一羽加わることになりました。父親が「ネザーランドドワーフ」、母親が「ミニレッキス」という品種で、格好良きいえば「ハーフ」となりますでしょうか(実際には意図せぬ交配だったようですが)。その年の7月7日に生まれ、生後約3ヶ月で我が家にやってきました。

いざ飼い始めると意外と手間がかかることが判明。なかでも温度管理が必要なのには驚きました。専門店等で聞く限りでは、快適温度は18~24℃、下限15℃、上限28℃だそうです。家人の暑い寒いには関係なく、ウサギのためにエアコンをついている感じです。それから一日一回のトイレ掃除。主食となる牧草と水は、いつでも食べられるように常に補充。体の構造上、胃腸を空っぽにできないらしく、寝ている時以外は食べ続けている感じ。おかげさまで家人が留守の時などは遅くても終電で帰宅して、ウサギの世話をするハメに。実際に、朝帰りも激減しました。

品種や個体差もあるでしょうが、極端になつぐこともないウサギ。適度な距離感を保った関係ではありますが、「癒し」の対象であることは間違ひありません。実際、ウサギを飼い始めてから我が家の大気もちょっと穏やかになったような気がします。

通常7~8年といわれるウサギの寿命。残念ながら、長男の受験と時期が重なったため、出産させてあげることはできませんでしたが、猛暑にも負けず1日でも長生きをして、我が家を和ませてくれることを切に願う今日この頃です。

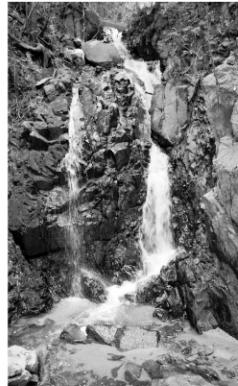


豊かな大自然を満喫 大鈿協&関西ねじ 合同ハイキングを開催

大阪鈿螺卸商協同組合（増谷彰彦理事長）と関西ねじ協同組合（北井啓之理事長）は3月25日、そして5月20日にそれぞれ「合同ハイキング」を実施しました。

3月末には「第3回リベンジ」として改めて昨年11月19日（第3回）と同じコースを、また5月の第4回では夏を思わせる爽やかな空の下、生駒山を歩きました。「第3回リベンジ」の回では一部コースを変えて高さ20mの「権現の滝」を訪れました。また第4回は新石切駅から近鉄瓢箪山駅までの約15kmを歩き、途中生駒山頂遊園地や暗闇峠、つづじ園を訪れました。

この催しは両組合による初の合同行事として企画されたもので、合計6回にわたり生駒山系を南北に歩く企画となっており、次回（第5回）は今秋を予定しています。本行事は半分を終えて残るは2回となりました。大自然の爽や



高さ20メートルの「権現の滝」

かな空気、そして山頂から見える見事な眺望が毎回好評を博しています。

【合同ハイキング世話人＝梅田真吾氏（梅田精密）、田中栄史氏（三協鉄工所）、増谷彰彦氏（増谷ボルト）】



山頂での集合写真【第3回リベンジ】



見事な眺望を望む一行【第4回】



優勝は濱中氏（近畿丸製ナット）

大鈿協&関西ねじ 第3回合同ゴルフコンペ

夏の到来を思わせる晴天の下、関西ねじ協同組合様との合同行事として第3回となる「関西ねじ・大鈿協合同ゴルフコンペ」が6月30日に枚方カントリー倶楽部（大阪府枚方市）にて開催されました。

関西ねじ協同組合様からは19社20名が、また当組合からは14社14名が参加しました。ゴルフを楽しんだ後の懇親会では表彰式を行い、続く懇親会は製販が交流を深める特別な時間となりました。

当日の主な成績は次の通り

▽優勝…濱中雷太郎氏=近畿丸製ナット（NET 70.0）

▽準優勝…北角尚弘氏=北角紙器（NET 72.0）

▽3位…三木茂晴=株三木製作所（NET 72.2）



優勝した濱中雷太郎氏（中）

OS会の頁

依存

(株)ホシック
西沢 昌邦

今年の7月は記録的な猛暑続きで、仕事をしている時も、車内にいるときもクーラーをつけて涼しい環境を作り出していました。そんな最中、自分の家のクーラーが壊れました。リモコンを押しても言うことを聞いてくれず、主電源を押しても何も期待に応えてくれませんでした。最終手段のコンセント抜き差しを行っても、当たり前のようにじっとしてくれています。

小学生から高校生の頃までは、クーラーのない教室で日中授業を受け、クラブ活動が終わってからは外が暑くても気にすることなく過ごしていた経験があるので、今回クーラーが壊れてしまったが、修理するまでは簡単に耐えられるものと考えていました。

安易な考えでした。

実際には昔のように過ごせず、夜も眠ることもできずに、ただアイスを食べて早く眠れるようにと祈りながら過ごさなければいけませんでした。

最近は、電化製品はじめ、パソコン、携帯電話なども進化して日々使いやすく、依存してしまう環境になっているかと思います。今後はIoTはじめ、AIも身近な存在になる中で、今回のように急に動かなくなってしまい、修理もすぐにできない場合は怖いなと感じました。

今回クーラーが壊れたことで、改めて自分がいかに依存していたのかも気づく中で、他の部分、会社内にても当たり前のように動いているパソコンなども含め、急な場合の動きについては対応できるようにしておくべきと思いました。

クーラーが修理されるまでは扇風機という文明品を大いに利用して暑さを凌いでいる状況ですが、とりあえず、クーラーがない環境に

も多少は耐えていける身体にしないといけないと思い、運動を心掛けたいと思います。

中甚兵衛

太洋ねぢ(株)
原田 貴司

私は本当にごく最近知ったのですが、江戸時代に大和川の付け替えに尽力した人物に中甚兵衛という人がいます。

川の付け替えとは「川の流れを人工的に変える改修工事」のこと、大和川でいうと今の柏原から北向きに流れて最終的に淀川と合流していたのを、長さ14キロメートル、幅180メートルの川を現在の大和川に付け替えました。大和川は大昔から水害がひどく、大雨で堤防が決壊し多くの田畠が被害にあい、多い時には死者は16,000人にも及んだとのことです。

昔の「河内」と呼ばれたのはそこから由来しており現在の柏原、八尾、東大阪あたりです。そこで古来より治水するために多くの人々の取り組みがありました、1,000年以上もの間完成するには至りませんでした。

中甚兵衛は江戸幕府に大和川付け替えや治水計画を50年近くにわたって懇願し続け、1703年に幕府から正式に付け替えが決定され農民の身でありながらも付け替え工事を指揮しました。それはわずか8か月足らずのスピード工事だったそうです。

現在の東大阪の今米に中甚兵衛ゆかりのお屋敷があります。最寄り駅は地下鉄中央線「吉田」駅です。ホームページを見てみるとお屋敷の周りに美しい竹林の画像がたくさんのっていますね。屋敷林といわれるもので、一般的には防風、防雪効果で家を守り、またガスなどない時代ですので落ち葉を燃料にするなどしていました。他にはその土地でのステイタスシンボルにもなっていたそうです。

その場所は昭和59年9月、大阪府下ではじめて都市緑地保全法の「今米緑地保全地区」として指定されました。期間限定でお屋敷を見学できるそうなので、一度実際に訪れてみたいと思っています。

東大阪は町工場が多く、鉄鋼産業が盛んな地

域、ラグビー場があるところといったイメージが強いです。しかし意外な歴史があったことに大変興味深く感じたので簡単ではありますが調べて書かせていただきました。

最後までお読みいただきありがとうございます。

野島製作所が2連覇

福利厚生委員会 第44回ボウリング大会ひらく



挨拶する鈴木副理事長

福利厚生委員会（西出倫明委員長）は、3月4日に第44回目となる「ファミリーボウリング大会」を弁天町グランドボウル（大阪市港区）で開催しました。当日は組合企業9社より15チーム45名が参加。昨年に続き野島製作所が3

ゲーム合計1720点の好成績で見事優勝を飾りました。

当日は子供と一緒に和気藹々とゲームを楽しんでいたチームがあった一方で、男子個人の部で優勝した海中一泰氏が11回連続でストライクを決めて会場を沸かせるなど参加者は皆思い思いにボウリングを楽しみました。

3ゲームを終えた後には表彰式が行われ、優勝した野島製作所チーム（海中一泰、海中美幸、野島淳の各氏）をはじめ、鈴木副理事長より優秀な成績を残した個人・チームにトロフィーなど記念品が手渡されました。

当日の主な成績は次の通り（敬称略）

▽団体（1チーム3名、数字は3ゲーム合計。ハンデ含む）

優勝=野島製作所（1720点）

準優勝=大丸鉄螺製作所Cチーム（1487点）

3位=コボリ（1462点）

団体ベストゲーム=野島製作所（675点）



11連続ストライクを達成した海中氏

▽男子個人（数字は3ゲーム合計。ハンデ含む）

優勝=海中一泰（野島製作所、678点）

準優勝=大信拓也（コボリ、604点）

3位=柴田翔太（大丸鉄螺製作所、541点）

男子個人ベストゲーム=海中一泰（286点）

▽女子個人（同前）

優勝=西尾絵里（大丸鉄螺製作所、534点）

準優勝=海中美幸（野島製作所、510点）

3位=増永久美子（増永産業、425点）

女子個人ベストゲーム=海中美幸（187点）

*ベストゲームの点数はいずれもハンデ含まず。



当日の様子

第31回 F E スタンダードセミナーを開催 労務委員会 19社より44名が参加

労務委員会（梅田真吾委員長）は、大阪市中央区の鐵鋼会館において第31回目となる「F E セミナー（スタンダードコース）」を3月2日・3日の2日間にわたって開催しました。当日は組合企業19社より44名が参加。前回（第30回）と同じく日本鉄螺（株）の西川倫史社長を講師として招き、ねじについて学びました。内容はねじの規格から始まり、熱処理、機械的性質、表面処理、品質管理をそれぞれテーマに講義が行われました。

セミナー初日に行われた開講式では初めに当組合の増谷彰彦理事長が挨拶に立ち、「EVやAI、自動運転等が話題となっている。産業革命のような変化が起きつつある中、自らアンテナを拡げて知識を得ることは非常に大切だ」とした上で「2日間しっかりと学んで秋の『F E検定』に臨んでほしい」旨話し受講者を励ました。

また講師の西川社長は講義に先立ち「『好き



演習問題に取り組む受講者

こそ物の上手なれ』という言葉があるが、義務感から学ぶのでは身に付かないのではないか。ねじに対して好奇心を持ってほしい」旨話し、受講者の自発的な学習を期待しました。

初日の講義終了後には懇親会が開催され、出席者は積極的に名刺交換を行うなど互いに交流を深めました。懇親会の中締めは同委員の大西啓文氏が務め、「数十年後、この場所での縁が活きてくることもあるかと思う。予習をして、明日の修了試験に臨んでほしい」旨話し、試験に臨む受講者を激励しました。

“色彩戦略”を学ぶ 経営委員会 勉強会を開催

経営委員会（近藤淳委員長）は、2月27日に「経営者の為の色彩コーディネート」をテーマに勉強会を開催しました。当日は組合企業17社より19名が出席。講師に色彩・イメージ戦略コンサルタントの山本幸子氏（TEAM Medium Grace代表）を招き、「色」を通じて第一印象を高める方法について理解を深めました。

勉強会では「男の一生は3秒で決まる!？」を副題に、コーディネートに関する話題の他に色彩を活用した能率改善の事例が紹介されました。山本氏は初めに「色はそれ自体に効能があるのでなく、あくまでもイメージを発信する手段としてある」と説明した上で、「色を目的とすると往々にして失敗に終わってしまう。目的に沿った色調を選択することが大切だ」と話し、“色彩戦略”的重要性を説明しました。

この後出席者は山本氏による実演を交えながら大きく「クール系（ブルーベース）」と「ウォーム系（イエローベース）」の2つに分かれるカラータイプの自己診断を取り組みました。



講師の山本氏

また講義の後半には色彩を改善活動に活用する事例が紹介され、山本氏はある織布メーカーの事例を挙げ、集中力を必要とする検査工程に体感時間を早める寒色系の色を、休憩室に体感時間を遅くする暖色系の色を採用したことで能率向上に繋がった事例を紹介しました。

野菜たっぷりイタリアンに挑戦！

大鉄協&関西ねじ 第1回クッキングスクールひらく

大阪鉄螺卸商協同組合と関西ねじ協同組合は、8月26日に合同行事として初の試みとなる「第1回合同クッキングスクール」を大阪ガスクッキングスクール淀屋橋（大阪市中央区）で開催しました。当



日は両組合より13社33名が参加。「野菜たっぷり♪美イタリアン」をテーマとして旬の野菜を使ったイタリアンのコース料理に挑戦しました。

参加者は1グループ6名程度に分かれ、インストラクターの方より説明を受けた後に料理の担当を決めてからスープや肉料理、デザートなど旬の食材を使ったイタリアン4品を作りました。普段触れない食材や調理器具に戸惑いながらも、グループ内で声をかけ合いながら和気藹々と料理に取り組みました。試食では「おいしい」「難しかった」など感想を言い合いながら旬の野菜をたっぷり使ったイタリアンを楽しみました。

キッチンでの一場面

最後には関西ねじ協同組合の樫本宏志理事が閉会の挨拶に立ち、樫本理事は「仕事では工側が製品を作り、商側はサービスを作って売っている。今日の料理のように皆で協力すれば楽しいだろうと思う。商工仲良くしながら社業に努めてほしい。また今回が第1回目ということで、今後も機会があるかと思うが続けていつて欲しいと思う」旨話し、今後の取り組みに期待を示しました。

当日のメニューは次の通りです。

▽エビと濃厚カボチャのスープ仕立て▽ベーコンとナスのペンネ トマトソース▽鴨のグリル バルサミコソース グリル野菜添え▽バゲット▽パンナコッタ オレンジソース▽紅茶



イタリアンのコースを作った

業務委員会 ファスナーカレンダー 2019年 ねじ手帳 発刊 ビジネスダイアリー

業務委員会（垣内龍夫委員長）では例年通り「2019年（平成31年）版ファスナーカレンダー」など3商品の制作を予定しています。いずれも年末・年始の贈答用として11月20日を納期として現在準備を進めています。

【「A5ノート版ビジネスダイアリー」
2019年版】

縦210mm×横148mm、224頁。表紙は高級ビニール装で、今年の表紙はオリーブ色となっています（のし袋付）。

【「ねじ手帳」2019年版】
縦型（縦150mm×横92mm）224頁・切り取

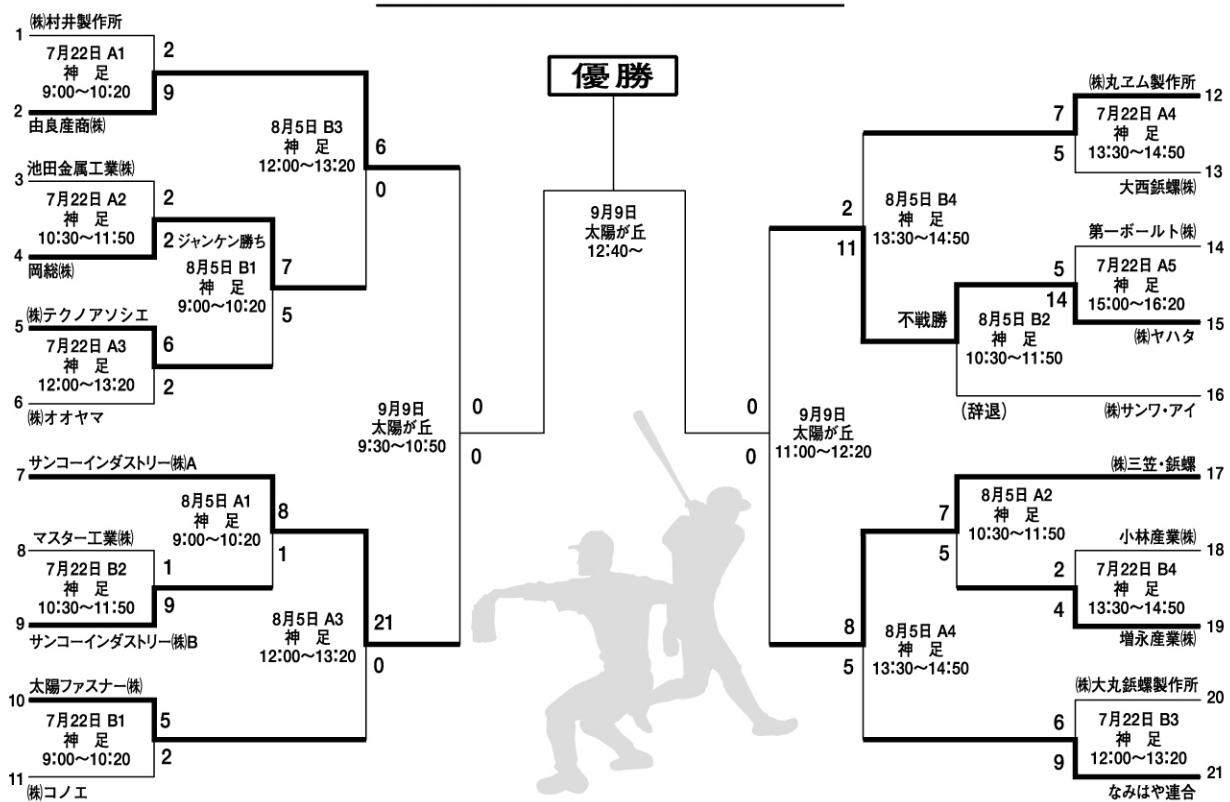
りミシン付メモ16頁。表紙は高級ビニール装で、今年の表紙は臘脂、リボンはピンク・紺の2本（のし袋付）。

【「ファスナーカレンダー
2019年版】

A2判3色刷・縦型・
厚手高級再生紙使用・表
紙付7頁、綴じ方はエ
コプレス（紙製）。カレ
ンダー6枚の地色はそ
れぞれ異なるカラーリ
ングとなっています。



大鋼協第70回野球大会



今年も“熱い”！ 第70回野球大会を開催 記念事業として大会功労者への表彰も

福利厚生委員会（西出倫明委員長）運営の下、今年も第70回目となる野球大会が開催されました。今大会は21チーム（19社1連合）が出場。記録的な猛暑の中、時折休憩を挟みながら溌剌としたプレーを繰り広げました。

大会初日となった7月22日には合計9試合が行われ、35度を超える猛暑の中参加チームは暑さのため休憩を挟みながらゲームを行いました。第1試合の開始前には西出委員長による始球式が行われ、バットが空を切ると会場は大きな拍手に包まれました。また、本来7月29日に行われる予定だった大会2日目は台風の影響で延期となりましたが、8月5日に無事開催することができました。この日は合計7試合が行われ、参加チームは時折強い風が吹く中熱い戦いを繰り広げました。

また今大会では第70回大会記念事業として、各チームより選出された大会功労者への表彰が行われました。表彰式は6月29日に開催された組合せを決める

「キャプテン会議」の後に執り行われ、増谷理事長より長年にわたり監督・キャプテンを務めた人物や、第1回大会の優勝ピッチャー、また50回以上の出場経験者など各チームの活動に大きく貢献した19名の功労者に表彰状が贈られました。



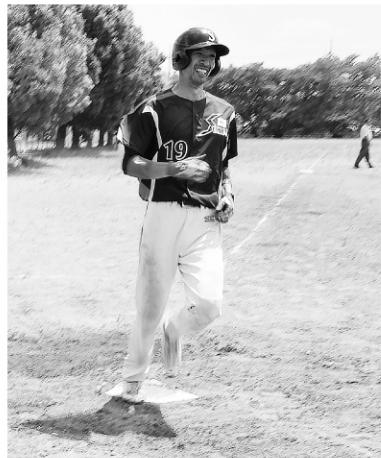
始球式の様子

【第70回野球大会・功労者】

(順不同・敬称略)

▽向井利政（サンコーインダストリー）▽
 原田幸弥（ヤハタ）▽西岡彦一（同）▽大西
 利樹（マスター工業）▽伊藤剛（同）▽瀬尾
 元治（大丸鉄螺製作所）▽寺澤誠史（同）▽
 高津茂雄（由良産商）▽榎原永二郎（小林產
 業）▽山本正則（オオヤマ）▽西村誠（同）
 ▽上根勉（第一ボールト）▽垣内龍夫（垣内
 螺子商会…「なみはや連合」所属）▽大西正
 純（大喜多…「なみはや連合」所属）▽砥綿
 道雄（三笠・鉄螺）▽新保裕介（同）▽大谷
 剛（コノエ）▽橋本淳一（同）▽工藤秀和（太
 陽ファスナー）

※9月9日に行われる予定だった決勝戦は荒天のため延期となりました。そのため決勝戦の様子は次号でお届け致します。なお、決勝戦の再試合は11月10日（土）に行われる予定です。



ホームに帰ってきた選手



溌剌としたプレーを繰り広げた



大会功労者へ表彰状が贈られた



日本ねじ商連 第43期通常総会を開催



筒井会長

筒井会長は挨拶の

中で「ねじ業界としては今のところ、原材料

当組合が所属する日本ねじ商業協同組合連合会（筒井三男会長＝横浜鉄螺（株））は、8月1日に東京会館（東京都港区）で第43期通常総会を開催しました。

の値上げが第一の課題と思っている。我々商社としても製品の販売価格値上げに関する説明・要望の文書を各方面に出す意見が挙がっているが、今後対応を進めていきたい」と話しました。また筒井会長の挨拶に続き小林副会長（東京鉄螺協同組合理事長＝（株）コバユ）は、「来年7月20・21日に全体総会もあるのでご協力頂きたい」とそれぞれ話しました。

この後審議に移り、計6議案を審議、いずれも原案通り承認されました。

シリーズ 私の宝物

「私にとってのゴルフ」

(株)テクノアソシエ
福井慶介

私のゴルフ歴は入社して直ぐに半ば強制的(?)に勧められた時から既に30年弱になります(入社当時はバブル経済最高潮時の為、ゴルフは必須アイテムでした)。但し、始めた時から自己流まっしぐらの為、スコアはボーリングのスコアと同等且つ乱高下を繰り返し、スイングに到っては「お前はロボットか?」と言われるぐらいのギクシャクさでした。よって、数年はそれほど熱心でもなく、20数年前は贅沢目(?)の運動の一つぐらいと思っていましたのでコースに出るのも年に2~3回程度でした。

そんなゴルフに対する接し方が変わったのは、30代前半時に台湾に赴任となり現地でゴルフを一緒にさせて頂き、付き合って頂いた方々との経験からです。当時、私は2つの日本人中心(時々台湾の方も参加)のゴルフの会に参加していました。何れもバラバラな業種の会社の方が参加され、一つの会は30代中心の当時の私と同年代ばかりの会で、もう一つは40~50代の各社現地法人責任者(總經理)レベルの方々が多い会でした(私は当然、平社員に毛が生えた程度)。どちらの会もゴルフの会なのでゴルフのスコアは一応気にはしますが、

半分かそれ以上の目的はゴルフを通じてワイワイガヤガヤするのが楽しくて参加していた様なものです。

また、業種はマチマチで年齢・社会経験的にも上の方が多い会の方では、ゴルフの会という機会がなければ知り合う事も話をする事もなかなか出来ない方々ばかりでした。それでもゴルフはもちろんそれ以外の場でも集まれば本当に気さくに付き合って頂けますし、経験に裏打ちされた蘊蓄のある話やグローバル?なきわどい体験談なども聞かせてもらう事もできました。また、実際の仕事でも私が専門外の案件でお世話になった事もありました。

そんなことから「ゴルフってプレー 자체は個人プレーだが色々人と一緒に楽しめるスポーツで、色々な楽しみ方ができる」ものだと思いました。それ以来、少しはスコアも気にしてユーチューブでスイングのイメージ作りをしながらゴルフを続けていますし、今後も続けていこうと思っています。



表紙のことば

シマウマの群れ

池田金属工業(株) 山崎 龍彦

1994年に起こった大虐殺以降、「アフリカの奇跡」と云われるほどの驚異的な発展を遂げたルワンダ共和国(東アフリカに位置し、四国

1.4倍の国土、人口約1,200万人、標高1,500m)

この国に娘家族が居住していますので、お盆休みを利用して訪問してきました。ルワンダ北東部に位置するアカゲラ国立公園内のサファリを訪れた時に撮った写真です。孫たちと一緒に大自然を満喫し、命の洗濯が出来ました。

今後の主な年間スケジュール

2018.9

| 日 時 | | | | 行 事 (予 定) | 場 所 |
|-----------|----------------------------|------------------|--|--|--|
| 9 | 12 12 20 | 水 水 木 | 15:30 16:30 18:00 | 三役会 理事会 役員懇親会 広報誌(95号)発行 | 鉄鋼会館 鉄鋼会館 セントレジス大阪 |
| 10 | 5~6 12 21 24 | 金 日 水 | 9:00 9:00 13:00 | 第25回 FEセミナー(図面の見方・描き方) 工場見学 第10回テニス大会 第2回 FE検定 | テクノセンター東大阪 紀州ファスナー工業(株) シーサイドテニスガーデン舞洲 鉄鋼会館 |
| 11 | 14 14 16 | 水 水 金 | 15:30 16:30 9:00 | 三役会 理事会 第7回 FEセミナー(Jrコース) | 鉄鋼会館 鉄鋼会館 鉄鋼会館 |
| 12 | 7 7 | 金 金 | 16:30 18:30 | 講演会 忘年会 | ホテルモントレグラスミア大阪 ホテルモントレグラスミア大阪 |
| 2019 1 | 9 | 水 | 10:30 | 新年互礼会 | ヴィアーレ大阪 |
| 2 | 3 20 | 日 水 | 10:00 | 第45回ボウリング大会 広報誌(96号)発行 | 弁天町グランドボウル |
| 3 | 6 6 8~9 19~20 | 水 水 | 15:30 16:30 9:00 9:00 | 三役会 理事会 第32回 FEセミナー(Stコース) 加工体験セミナー | 鉄鋼会館 鉄鋼会館 鉄鋼会館 ポリテクセンター |
| 4 | 24 24 | 水 水 | 13:30 15:30 | 三役会 理事会 | 鉄鋼会館 鉄鋼会館 |
| 5 | 22 | 水 | 14:00 | 通常総会 | ヴィアーレ大阪 |
| 7 | 10 10 中旬 21 28 | 水 水 日 日 | 15:30 16:30 ねじ流通商社経営実態調査 第71回野球大会① 第71回野球大会② | 三役会 理事会 (8月回収) 村田機械(神足球場) 村田機械(神足球場) | |
| 8 | 未定 | 日 | | 第71回野球大会③ | 未定 |

*あくまでも予定ですので確認をお願い致します。

編 集 後 記

いよいよ平成も終わりに近づき最後の夏が過ぎましたが、西日本は大阪北部地震、平成30年7月豪雨と大きな災害に見舞われました。被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。大災害を通じ、南海トラフ地震に対して益々防災意識を高めなければならないと実感致しました。

ご寄稿頂いた皆様には心よりお礼申し上げます。
本当にありがとうございました。 (庄司宜弘)

発行所
〒542-0081 大阪市中央区南船場2-6-10
(ツチノビル)

大阪鉄螺卸商協同組合
電話 (06) 6271-4550

印刷所
〒537-0013 大阪市東成区大今里南2-5-5
株式会社 ベン・アート
電話 (06) 6973-3338

大阪鉢螺卸商協同組合の 保険相談窓口

大阪鉢螺卸商協同組合では、組合員の皆様のための、保険相談窓口をご用意しております。既にご加入の保険の見直しや、新たにご加入になるときのご相談等を承っておりますので、是非ご活用ください。

取扱商品

医療・がん・傷害保険

生命保険

自動車保険

超保険
超ビジネス保険



火災保険

賠償責任保険



* 生命保険・医療・がん保険のお引き受けは、東京海上日動あんしん生命(株)の商品で
(株)東海日動パートナーズかんさい 大阪南支店にて引き受けとなります。

この他にも多数商品を取り揃えております。
お見積もり、ご相談は無料ですので、
お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先

大阪鉢螺卸商協同組合

担当：中西

〒542-0081 大阪市中央区南船場2-6-10

ツチノビル

TEL 06-6271-4550 FAX 06-6271-0514

提携代理店

株式会社東海日動パートナーズかんさい

TEL 06-4963-2813

大阪南支店 担当：井上

FAX 06-4963-2814

〒541-0041 大阪市中央区北浜2-6-26 大阪グリーンビル4F

引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社
大阪南支店 直轄S

TEL 06-6203-0821